

猛暑のあとは台風接近、

今週は、梅雨に戻ったような天気の子報です。

通常の今頃は・・・

半夏生（はんげしょうず）7月1日頃

半夏が生え始める頃。田植えを終える目安とされました。

「半夏」は「烏柄杓」（からすびしゃく）の異名。写真画像⇒

温風至（あつかぜいたる）7月7日頃

熱い風が吹き始める頃。温風は梅雨明けの頃に吹く南風のこと。

日に日に暑さが増します。



【小暑】しょうしょ：7月7日頃

だんだん暑さが増していくという意味で、梅雨明けも近くなり、湿っぽさの中にも夏の熱気が感じられるようになります。海や山に出かけるのにもいい時期です。また、小暑と大暑(7月23日以降)を合わせたおよそ1か月を「暑中」といい、「暑中見舞い」を出す期間とされています。



渡邊恭子先生が、昇降口通路に七夕飾りを用意してくださいました。短冊もあります。



蓮の開花

午前だけ咲きます。

香りがします。



七夕が広く庶民に広がったのは江戸時代（1603～1868年）中期。各地にできた「寺子屋」では、「手習い」として、短冊に願いを書き、笹に飾る日本独特の風習が生まれた。笹竹は、古来より日本人に身近な植物であり、強い生命力で繁殖し、天に向かって真っすぐ伸びることから、願いを天に届けてくれると信じられていた。